

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ひかり鳴神教室				公表日	2026年 3 月 6 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・活動によって、スペースを分け、児童が過密にならないよう配慮している。	・部屋数はあるが、支援によって手狭と思う時がある。 ・床面積は網羅しているが、住宅を利用している為、使いづらい時もある。 ・クールダウンの部屋の壁が薄く、防音設備が備わっていない為、音漏れが気になり利用者さんがいる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	・送迎に添乗が必要な時には、添乗が付けれられるように配慮している。 ・学校行事でお子さんが崩れそうな時や、事業所のイベントの時には、職員の数を増やし対応している。	・曜日や活動内容によって足りないと思う時がある。共通理解を深めていきたい。 ・学校のイベント、天候、疲れ、体調により、安定しない利用者さんが重なる時と分らない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5	・スロープ、手すり、広めのトイレがある。 ・昨年と比べると、視覚支援が増えた。	・段差があったり、もう少し広いトイレがあればと感じる。 ・職員数に対してのパソコンやカメラ、ipadが足りず、支援に必要な作業や書類が滞ってしまう。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	・心地よく過ごせるよう、毎朝と利用後の掃除をおこなっている。清潔と安全確保に努めている。 ・活動に応じ、机を移動し、活動しやすい空間を提供している。 ・日課にそうじを設ける事で、利用者さんと一緒に掃除し、掃除の仕方、教室は皆でキレイにする取り組みに繋がっている。	・ラックや細部に誇りが溜まりやすく、見落としやすい。日常の掃除だけ網羅できない場所は、掃除日を決め普段できない場所を掃除したい。 ・カウンターキッチンが逆サイドにあると良かった。 ・活動によって、手狭と感じる時がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・間仕切りで、空間を区切って個別ブースを作っている。	・クールダウンが必要なお子さんが複数人重なるると個別の部屋の確保が難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	・月に1～2回ミーティングを行っている。 ・設定までの経過や共通認識を持つ意味においても多くの職員参画してもらっている。	・参加していない職員への周知が必要。 ・目標設定と振り返りまでの期間が長く、定期的な進捗の確認は必要。 ・主体的に改善できる体制を築きたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	・アンケートを実施。意向を受け出来る事は何か話し合い、改善を目指してしている。 ・個別面談を実施する事もある。	・分からない1名。保護者向け評価を受けて検討はしたが、職員によって周知の差がある為、認識の差を埋めていきたい。 ・検討時間を捻出し、具体的に明確な変更に行きたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・職員会議、指導員ミーティング、朝礼等の時間に確認している。意見があれば、意見交換し改善出来るよう努めている。	・意見等発言出来る場がない。 ・発言できないと感じている職員がいる為、話せる場、公平に安心して話せる場を整えて行きたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		・第三者委員会がない為、取り組みに至らず。 ・分からないと答える職員が4名いる為、周知が必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・多くの研修に参加させて頂いている。 ・事業所内、施設内研修も行っている。	・多くの職員が、研修に参加する機会を設定していく。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	・職員の強みと意向、保護者様のご意向を参考にしながら作成している。	・昨年からの取り組みの為、保護者様、職員の認知が低く周知していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・利用者さん、保護者さんのニーズの把握を受け、アセスメントを行い、計画を作成している。 ・担当者を中心に全員で作成している。	・分からない1名。分からない職員もいる為、計画立案までの流れの確認と、実際に立案してもらう中で、理解に繋げていきたい。

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・会議を通し、児発管だけでなく、多くの職員が参画し決めている。 ・多くの職員が参加する事で、自分には知れない利用者さんの1面を知り多面的に見る機会、今度注意深く観察する機会となり、利用者さんの理解が進むきっかけとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加出来なかった職員に対し、会議録を見て頂くのみで、考えの吸い上げが出来ていなかった。見る明けてなく、考えを聞く機会を設けていきたい。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の場で方向性や具体的な支援内容を共有している。 ・保護者さんへ配布する前は、改めて目を通してもらっている。 ・忘れてしまう事もある為、お子さんの日々の記録を書くファイルにも計画を挟み、確認出来る環境を作り、確認しながら支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なんとなく分かっているが、全ての職員への周知までには至っていない。 ・共有する際の、言葉選びに気を付け、途中で確認を入れ、どこかの共有にズレが生じているのか確認しながら話を進めていく。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・同じアセスメント様式を使用する事で、視点の差が出ないようにしている。 ・日々の記録も参考にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し判断に迷わないアセスメントがあればと思う事がある。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人、保護者さんのニーズを把握し、必要な事は何か考え、設定している。 ・具体的な数字や、時間、言葉を使用する事を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人、保護者さんのニーズを引き出せるのか。 ・言葉や書く事が苦手な場合のニーズの把握のしかた。 ・具体的な言葉選び、表現方法を増やしていく。 ・具体的な支援が提供出来るよう、職員のスキルや手立てを増やしていく。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・会議やミーティングで相談し決定している。 ・全員で考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない2名。取り組みの説明と、実際に参加する中で、理解に繋げていきたい。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・固定しないよう、職員が同じ月を担当しないよう、輪番制を取り入れている。 ・複数の意見を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない2名。取り組みの説明と、実際に参加する中で、理解に繋げていきたい。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動と集団活動が適宜組み合わせられるよう、計画をたてている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない1名。移動直後という事もあり、利用者さんの理解が深まっていくよう、ケース検討を開き、各活動の提供を計画に基づいて提供している事を周知していきたい。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・午前中に打ち合わせ等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午後から入る職員さんへの伝達が課題。 ・役割り分担や細部についての話しが、出来るとう良いと感じる。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童送迎後、簡単な振り返りをおこない、翌日の朝ミーティング内で、しっかりと共有している。内容によっては、検討に時間を要する場合もあるため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいた点の共有はしているが、知らなかった、漏れてしまう事がある。大切な事は、翌日改めて共有する必要がある。 ・送迎から戻る職員の時間が遅く、時間が確保しにくい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日個別に記録し、振り返っている。 ・正しく記録し、検証や、改善策を導くよう心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証の際、記入してある事と、口頭説明に開きがあり、不十分と感じたり、記入漏れが伺える。共有しながら、こんな時は、何を書くのか決めていきたい。
23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1度のペースで、見直しを行っている。新規のお子さんは、3ヶ月その後は半年のペースで取り組んでいる。 ・担当を決めて取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない1名。見直しの時期や計画立案までの流れを確認し、実際に取り組む中で、理解に繋げていきたい。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	3		<ul style="list-style-type: none"> ・4つの基本活動が提供出来るよう、日課や集団活動に取り入れ複数を組み合わせ提供している。 ・偏りがでないよう、チームでの立案している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない5名。勤務年数による知識の差がある為、4つの基本活動とは何か、また、日頃提供している支援の中で実践している事を周知していきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ選び、余暇活動、活動に乗り気でない場合は、自分のしたい事が、言葉や、指差し、職員を誘導出来るよう練習している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択機会を日課に設定し提供していく。 ・選択した結果、願いがかなった経験や、安心して失敗する経験が出来る環境作りを行っていきたい。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	・児発管だけでなく、指導員が参加可能な会議には、複数名で参加している。 ・周知の際に、漏れや抜けがない為にも複数で参加し伝達に努めている。	・今後は、児発管だけでなく指導員さんが参加する機会を設けていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	・学校や障がい福祉と連携する事が多い。 ・協力医療機関がある。	・分からない1名 ・機関によって、関係に差がある。希薄な機関との関係を深めていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・お子さんの引き渡しのタイミングで、送迎時間の調整、相談をおこなっている。 ・トラブルの前後の様子を伺い、来所中の関わりに繋げている。 ・こちらから伺う、コミュニケーションを心がけている。	・学校によって対応の差を感じる。下校時間や送迎の調整の為、話した所、家庭を通してと言われてしまう事も増えてきた。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・移行会議を実施。 ・予め質問内容を検討しすりある情報共有、相互理解に努め、利用開始後、混乱が小さくなるように心がけている。	分からない2名。移行支援をおこない、情報をもとに、受け入れ対応を検討している流れを確認していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・利用者さんも支援者側も、少しでも早く慣れていくよう情報を提供している。	分からない1名、無記名1名。移行支援をおこない、情報提供を行い、利用者さんが混乱しない為にも、行っている事を周知していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	・助言をもとに、利用者さんの理解や関わり方を統一している。	・分からない3名。行っていると答えた方も積極的な関りではなく、必要に応じ、助言を頂いている、間接的な関りが多い。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		・同施設に児童クラブがある為、定期的に交流イベントを行っている。 ・公園活動をいれ、地域の小学生と遊ぶ機会を積極的に取り入れている。	・交流しているものの、保護者さんの認識は薄い。 ・分からない2名。実際に参加し、どのような活動で、関りがあるか体験し理解に繋げていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2		・放課後等デイサービス連絡会に児発管が参加している。	・無記名1名、分からない5名。どの研修が何に該当するのか、周知していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・帰りの送迎時、フィードバックを丁寧に言い、共通理解が持てるよう努めている。 ・保護者さんと話した中で出てくる変化や課題等、職員で共有している。	・口頭だけでなく、連絡帳、電話、面談など伝える方法を模索しながら、共通理解が持てるよう努めていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	・ペアレントトレーニングの情報の提供をおこなっている。 ・送迎時や連絡帳を通し相談、支援をおこなっている。	・分からない1名。 ・相談に乗る事はあるが、家族支援プログラムはない。
保護者への説明	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に説明している。 ・玄関にファイリングされており、確認出来るように整えている。	・無記名1名、わからない2名。契約時にどんな話をするのか周知すると共に、実際に内容を確認し、理解に繋げていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・本人、ご家族の希望様式を用いて、意向確認を行っている。文章（言葉）にてもらう事で、相互理解に繋がっている。 ・面談で見解の一致や、本当に伝えたい事の確認を行っている。 ・場合によっては、職員が変わったり、フィードバックの最中に、本心が出る場合もある為、大切にしている。 ・利用者さんの意向を確認する場合は、緊張感のない場所を選び確認している。	・利用者さんの中には、意向確認が難しい場合が多く、保護者さんの意向に偏らないよう気を付けていく。 ・話やすい雰囲気、信頼関係を今後も築いていく。 ・意向を引き出す力、傾聴のスキルを身に付けていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	・保護者さんに説明後、質問や不明点はないか確認し署名を頂いている。	・計画の意図や目的を説明し同意を得る。 ・無理強いはいしない。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・保護者さんが安心して話が出るよう、面談や電話で相談に応じる事もある。 ・返答に自身がない場合は、一度持ち帰り、多くの職員の意見を参考にし、対応を話し合い、助言や支援に繋げている。	分からない2名。たいはんの職員さんには、家庭からの相談として認識されているが、報連相の大切さ、認識できる言葉選びに勤め、認識を揃えていきたい。 ・相談したいと思って頂けるよう、信頼関係を築きつつ、研修に参加し知識を備えていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8	・保護者さんから、同じ悩みがある家族と話がしたいとの相談を受け、どうか対応できないか話が出た。	・保護者や、兄弟（姉妹）が交流できる場を整備していきたい。

明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り後、ミーティングの中で共有、周知、検討をおこない、迅速な対応を心がけている。 ・玄関に苦情体制の流れを掲示周知に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない2名。制度が整備されている事を含め、全体での振り返りに繋げる。 ・ひかり通信や、玄関に掲示しているが、周知には至っていない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・写真や文字で活動内容を伝えている。 ・マニュアルや交流活動、ボランティアさんとの関り等の取り組みを、保護者さんたちに報告する機会にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない2名。作成してもらい、どんな物を作っているのか実際に体験し理解に繋げていく。 ・パソコンが足りず作業が滞ってしまう。 ・楽しみにして頂いているご家庭も多い為、1ヶ月に1枚ペースで出したい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・出しっぱなしにはしない、物によっては鍵のかかる場所で保管している。 ・書類は、シュレッターにて処分を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れていたり、気づかない時には、お互いに声を掛け合い注意していく。 ・書類の処分に迷う時は、全てシュレッターにかけていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・文字、絵や写真、実物、ジェスチャー等複数を取り入れ意思疎通に努めている。 ・手話の研修に参加し、簡単な手話を活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉以外のツール使用スキルを高め、相手の理解が深まる使い方を習得していきたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> ・高校生ボランティアの方との活動を長期休暇中におこない、知って頂く活動をおこなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない3名。ボランティアさんの受け入れ状況や活動内容を共有していく。 ボランティアさんの受け入れを増やし、地域の方との交流する機会を増やす。 ・避難訓練の時に近所の方を交えての避難訓練をどのように進めていくのか。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ひかり通信でお知らせしたり、マニュアルを玄関にファイリングして常置している。 ・置き去り防止、ヒヤリハット事例の共有、熱中症が起きたら対策、王吐物処理、手洗い等の訓練を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない1名。マニュアルや指針の読み合わせを行い、理解に繋げていく。 ・ひかり通信や、玄関に掲示しているが、周知には至っていない為、強化していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブベースと年2回（9月、3月）に地震や火事の避難訓練を実施。行動の確認、広域避難場所まで歩いて避難経路を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない2名。全体で確認し、実際に避難する事で、理解に繋げていく。 ・合同での避難訓練になる為、役割を明確にしていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・服薬や持病、疾患については聞き取りをおこなっている。病院から処方されるお薬情報を、お薬が変更されたタイミングで頂いたり、医者さんからの助言を共有している。 ・予防接種についても、連絡を頂き経過観察し、様子について報告している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お薬状況のお知らせの協力をお願いしているが、忘れてしまうご家庭もある。 ・発作時の対応と注意する点、報告が必要な所はどんな所か保護者さんに確認し、保護者さん、職員の不安を今後も減らしていく。 ・発作時の対応の勉強会をすすめる。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーが記載された用紙のコピーを頂くようにしている。 ・職員間で周知し、アレルギー成分が入っていないか複数人で確認し提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未記入2、分からない1名 ・投薬が必要な方はおらず、指示書がないご家庭が多い。今後もアレルギーがある場合は、保護者さんに確認し、あれば、指示書を頂いていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練をはじめ、ヒヤリハット、ハラスメント、熱中症対策、送迎車の安全装置の動作確認の訓練を実施。 ・支援方法や感染症対策、非常災害時等の研修（法人内外）も行っている。 ・研修や訓練を通し、安心、安全が確保された環境で、利用者さんに過ごしてもらい、支援に当たる側も不安なく支援に入れるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行う事で、忘れない、知識のアップデートをおこなっていく。 ・支援する側の不安感の軽減に努める。 ・訓練をする事で、何か起きた時の動きを確認する。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・外出先での交通ルールの理解や実践してのフィードバック、避難訓練に参加していた時の様子等、フィードバックや、連絡帳を通し報告と周知を行っている。 ・事業所の玄関にファイリングして常置したり、ひかり通信に掲載し取り組みの周知を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバック、ひかり通信で報告はしているが、周知にまでは至っていない。 ・理解が深まっていくよう、表現方法、印象に残る工夫し、今後取り組みの報告をしていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング内、会議の中で事象の共有と対応策を検討し、再発防止に努めている。 ・検討を重ねる事で、職員の意識が変わり、気づく力がついてきた。他の職員も繰り返さないようにとの考えから、取り上げる件数が増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない2名。4月が、下半期のまとめの時期になる為、その機会に改めて共有をはかっていきたい。 ・大きな事故に繋がらないよう、小さな出来事が沢山あがる雰囲気作りと、検討と共有をおこなっていきたい。

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動、委員の方が研修に参加し、参加した内容を、伝達研修という形で職員間で共有をしている。 ・どんな意識が虐待に繋がるのか、気づきチェックシートを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない2名。伝達研修やチェックシートが虐待防止の取り組みに紐づかなかった。何の為に行っているのか明確にし、伝えていく。 ・職員の感情のコントロール等の理由で、虐待につながらないように、引き続き仕事を分散していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束が必要な利用者さんがいない為、おこなっていない。身体拘束が必要な場合は、保護者さん、利用者の了承を得て、計画に記載し取り組む流れにはなっている。 ・身体拘束委員会を中心に組織的に取り組み決定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない3名。対象者が不在な事が、分からない大きな原因と考察出来る。身体拘束のマニュアルや指針の読み合わせを再度おこない、周知に努めたい。